

カルテNo.	名前	年 月 日					
吸着阻害因子	右			左			
	良好	中等度	不良	良好	中等度	不良	
1.顎堤形態（□パノラマでチェック）							
2.舌下ヒダ部スポンジ状組織							
3.後頸舌骨筋窩部の義歯延長の余裕							
4.梨状のレトロモラーパッド							

→ レトロモラーパッド(リスク1つは中等度、2つ以上は不良に□)

	右側	左側
1. 前方1/2に硬い線維性組織があるかどうか	(ある、少ない、ない)	(ある、少ない、ない)
2. サイズ	(大きい、中、小さい)	(大きい、中、小さい)
3. 傾斜角度	(緩、中、急)	(緩、中、急)
4. 開閉口時の変化量	(小さい、中、大きい)	(小さい、中、大きい)

吸着阻害因子			
5.開口時の舌後退	□正常(2cm未満)	□軽度後退(2cm以上4cm未満)	□重度後退(4cm以上)
6.顎間関係	□Class I	□Class II	□Class III
7.下顎位	□誘導位と習慣性咬合位が一致ズレが2mm以内	□誘導位と習慣性咬合位の2mm以上のズレ	□2mm以上のズレと不安定なタッピング位
8.顎関節機能	□正常	□機能異常あり	□重度な機能障害(クリック音、痛み)

その他の特記事項:
義歯装着期間、前歯部フラビーガム、下顎フラビーガム、オトガイ棘、下顎前歯部の口腔前庭の狭小、など



上顎 □総義歯 □部分床義歯 □天然歯列(シングルデンチャー)

備考